

平成30年度予算概要

さらなる躍進

未来に向けて

企画財政課 ☎(235)8453



海老名市を取り巻く環境はここ数年で大きく変化しています。全国的に人口減少によるまちの活力低下が叫ばれる中、海老名市の人口は依然増加が続いています。海老名駅駅間地区には新たな商業施設がオープンし、駅の東西を結ぶ自由通路は毎日8万人を超える人が行き交っています。鉄道関連では小田急線のダイヤ改正によりロマンスカーの海老名駅停車本数が増えられました。また、相鉄線の都心

直通事業などにより今後は今以上に公共交通の利便性向上が見込まれます。こうしたことを受け、海老名駅西口地区や駅間地区においては複数の大型マンションの建設が進んでいます。新築住宅ラッシュは新住民を呼び込むことから、税収は増加していきますが、一方で新たな行政需要が発生することも考えておく必要があります。

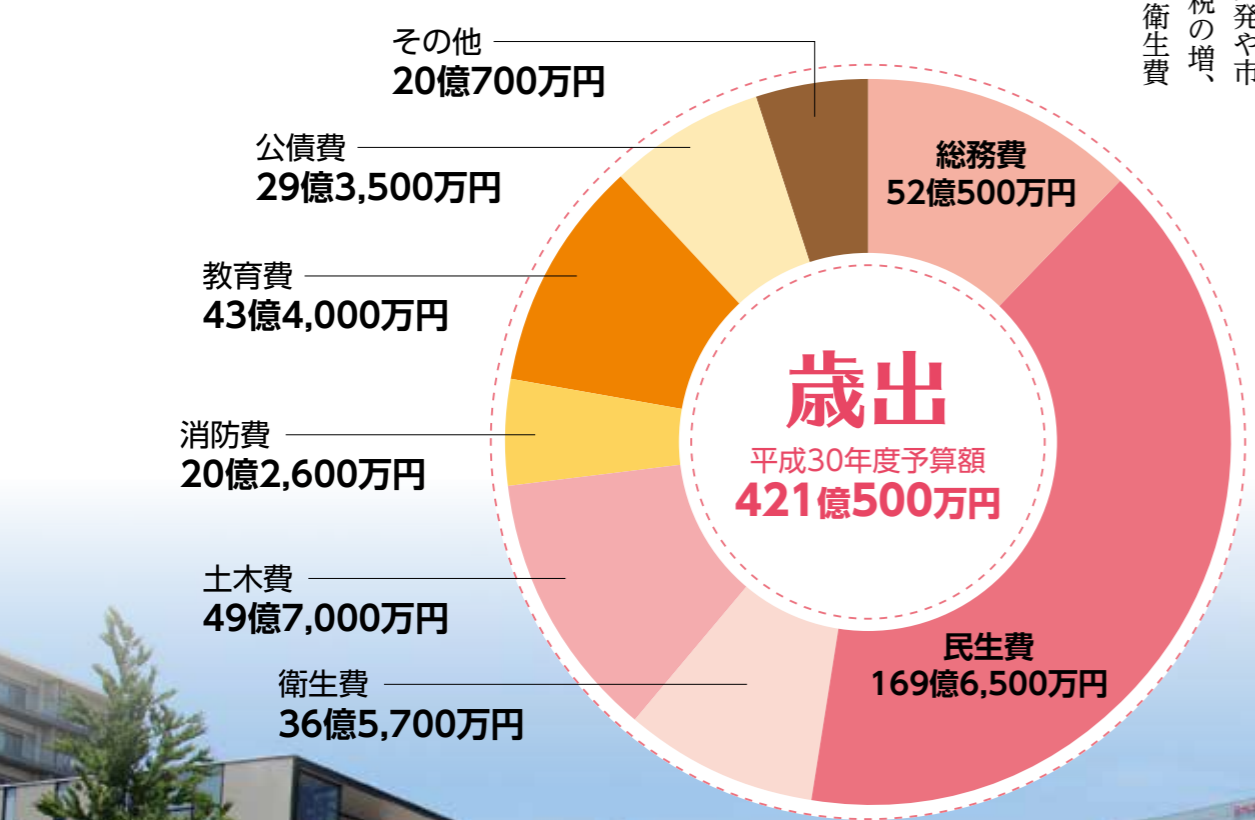
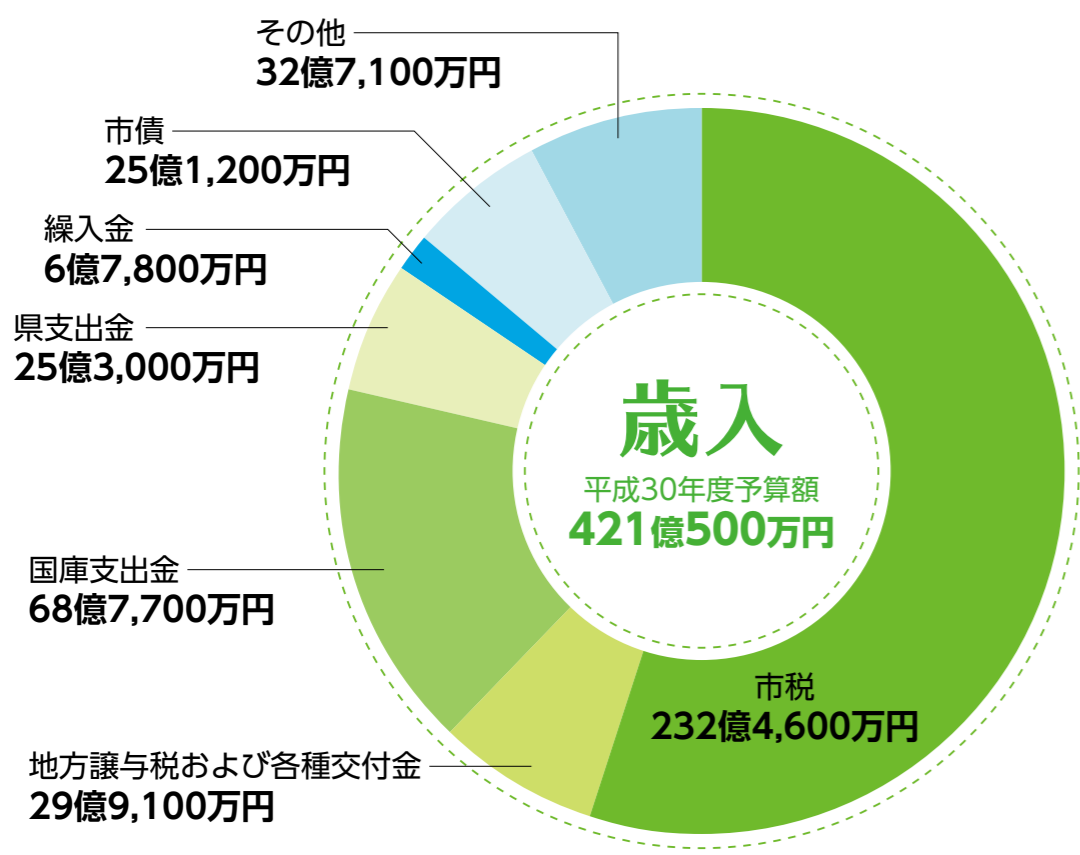
人口減少対策に焦点を当てた「海老名市かがやき持続総合戦略」は計画期間の折り返し年度を過ぎました。合計特殊出生率や市内企業における従業員数などの指標も順調な伸びを示しており「まちひとしごと」の好循環が本格化しつつあります。

日々まちの変化が見て取れる海老名市。この変化に対応するとともに、新たなまちづくりをさらに推進するため、平成30年度予算は「さらなる躍進 未来に向けて」として編成しました。

(平成30年度施政方針より)

一般会計予算の内訳

一般会計予算額は前年度と比較し、17億3400万円、4.3%増額の421億500万円となりました。歳入では、海老名駅西口地区の開発や市南部地域への大型物流施設の進出などによる法人市民税・固定資産税の増、歳出では扶助費や普通建設事業費が増えていることによる、民生費や衛生費の増が特徴です。



平成30年度予算額

一般会計、特別会計および企業会計を加えた総予算額は約693億4300万円で、過去最大の予算規模となりました。

会計名	平成30年度当初予算額	対前年度伸率
一般会計	421億500万円	4.3%
特別会計	218億9,068万円	-6.0%
国民健康保険事業	125億3,828万3,000円	-14.7%
介護保険事業	77億5,344万6,000円	10.5%
後期高齢者医療事業	15億9,895万1,000円	1.6%
企業会計	53億4,704万5,000円	11.2%
公共下水道事業	53億4,704万5,000円	11.2%
合計	693億4,272万5,000円	1.3%

